

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県 一関市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	49.45	68.58	3,996	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
121,059	1,256.42	96.35
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
82,313	2,405.00	34.23

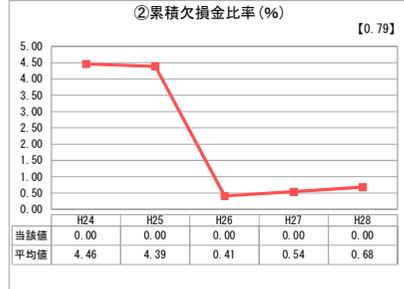
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



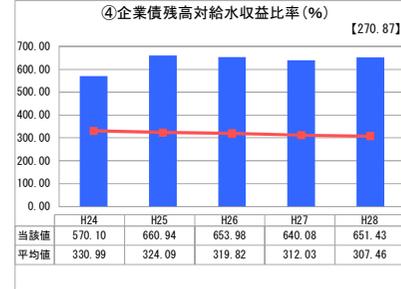
「経常損益」



「累積欠損」



「支払能力」



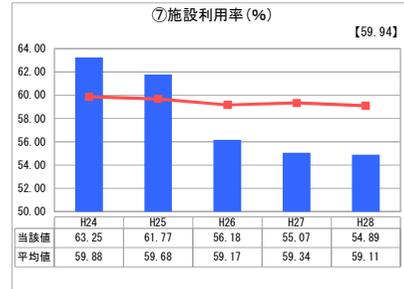
「債務残高」



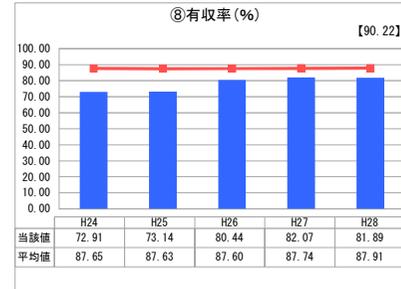
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

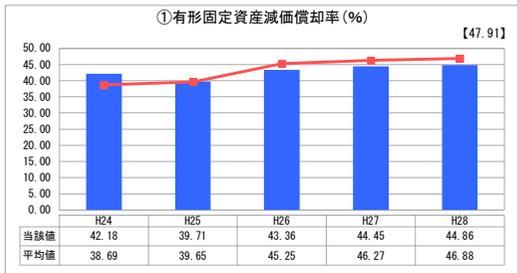


「施設の効率性」

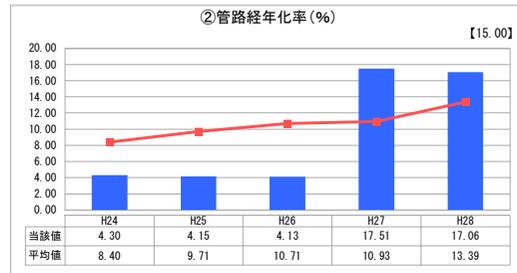


「供給した配水量の効率性」

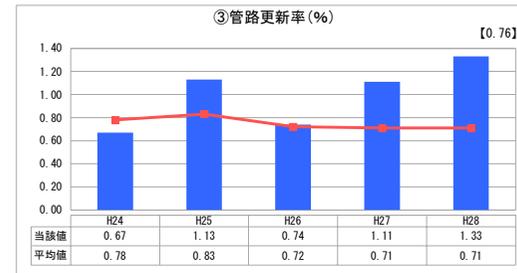
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は113.78%で、収支は黒字となっています。
 流動比率は198.15%で、1年以内に支払う債務に対して現金等がある状況を示す100%以上となっています。
 企業債残高対給水収益比率は651.43%となっており、類似団体及び全国平均と比較して高い水準で推移しています。このことは、当市の水道施設整備にこれまで多額の費用を要してきたことを示しています。
 料金回収率は103.86%となっており、概ね給水に要する費用を給水収益で賄えている状況です。
 給水原価は227.70円となっており、有収水量1m³あたりの費用が類似団体及び全国平均と比較して高い数値となっており、施設利用率は54.89%で、類似団体及び全国平均と比較して低い数値となっていることから、水道施設の効率性の面では他市に比べて低いことを示しています。
 有収率は81.89%となっており、類似団体及び全国平均と比較して低い数値となっています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は44.86%で、類似団体および全国平均と比較しほぼ同レベルにあります。
 一方、管路経年化率は17.06%で、類似団体及び全国平均と比較して高い数値となっています。
 管路更新率は1.33%であり、類似団体及び全国平均と比較して高い数値となっており、漏水を防止し有収率の向上を図るためにも、計画的に老朽管の更新を進めていく必要があります。

全体総括

経常収支は黒字で推移しており、概ね健全な経営状態を確保しています。
 効率性の面では水道事業と簡易水道事業の統合、水道料金の統一により市の水道事業全体の効率化を図るとともに、組織統合や業務の民間委託等による維持管理費の更なる縮減、人口減少に伴う水需要の減少に対応した水道施設の統廃合・ダウンサイジングによる配水の効率化、計画的な漏水調査と老朽管の更新による有収率の向上に努めていきます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。